

電源が落ちる場合の確認事項

エンジンからの点火ノイズにより、走行中に電源が落ちる場合があります。

原因を確かめる方法

パルスリード線をプラグコードとラップコムから外し、走行します。

パルスリード線をプラグコードとラップコムから外すことでエンジンからの点火信号が遮断されます。

パルスリード線を外した状態で走行し、電源が落ちなければ、ノイズが原因と判断できます。

- ※ パルスリード線をスピードセンサーなど他のセンサーケーブルと結束しないようにしてください。結束部からノイズが乗り、誤作動を起こす原因となります。
- ※ バッテリーパックの固定ねじに緩みがないことを確認してください。緩んでいると振動により接触不良となり電源が落ちることがあります。

対策

ノイズが原因の場合、ノイズを減衰させる必要があります。

① プラグ、プラグコードから距離を置く。

写真のように燃料チューブをプラグコードやパルスリード線に通します。

- ※ パルスリード線をプラグコードに巻いている場合は、巻き付けをやめてください。
- ※ タイラップで数カ所固定している場合は、1カ所固定にしてください。
- ※ 抵抗入りのプラグやプラグコードを使用することも有効ですが、両方とも抵抗入りになるとrpmが計測できなくなります。



② ケーブルの取り回しなどを確認する

パルスリード線を金属フレームに直接固定し、配線をしてください。ノイズが金属に逃げ、ノイズを減衰させる効果があります。

③ プラグとプラグキャップが確実に接触していることを確認してください。接触不良から起こるノイズが影響している場合があります。

パルスリード線をプラグコードとラップコムから外します。



バッテリーパックの固定ねじに緩みがないことを確認してください。

